



いいもの成らせるさくらんぼ便り

vol. 9 来年に向けて、雪害対策と野ネズミ対策を万全に！

3か月予報(仙台管区气象台)の降雪量は**平年並**の見込み！

今年の雪害を忘れるな！！雪害対策は早めに実施

1 雪害対策

降雪前、積雪後の対策で被害の軽減を！
降り始めの雪は、水分が多く重いので注意

(1) 降雪前の対策

① 樹体被害の回避

- ・大枝に支柱を外れないように設置
→2本の支柱を**クロス**すると枝が外れにくい
- ・降雪前に「**粗剪定**」を実施
(混みあっている不要な枝や徒長枝を間引く)
- ・苗木や若木は支柱に側枝を結束

② 施設被害の回避

- ・連棟ハウスと積雪の多い地域では、雨樋の下に支柱が無い施設は、支柱を追加して補強



2本の支柱をクロスさせて固定すると、枝が外れにくい(りんごの事例)

(2) 積雪の対策

① 雪下ろしと枝の掘り上げ

- ・大雪時は速やかに樹や施設の雪を下ろす

◆こんな部分は要注意！

樹：大枝や分岐部

施設：雨樋やパイプの交差部

- ・埋もれた枝は、雪の沈降前に掘り上げる

② 融雪剤の散布

- ・【散布量】40kg/10a程度
- ・散布は樹冠下中心に(幹周りが効果高い)
- ・散布時期は、積雪ピーク後の2月下旬以降
- ・降雪で融雪剤が見えなくなったら再散布



ハウスバンドや防鳥ネットは外すかまとめる



雨樋の雪は多くなる前、硬くなる前に下ろす

2 休眠期防除

褐色せん孔病 対策
樹脂細菌病

I Cボルドー66D 40倍を落葉後、丁寧に散布

コスカシバ対策

ガットキラール剤 100倍またはトラサイドA乳剤 200倍を落葉後なるべく早い時期に樹幹及び主枝に十分散布

3 野ネズミ対策

特に苗木・幼木（アオバザクラ台）では万全に対策

（1）野ネズミが住みにくい環境づくり

【対策1】隠れる場所を作らない

園地除草、マルチ・敷きわら等の除去

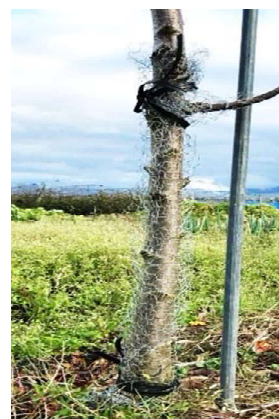
【対策2】果実残さ等エサになるものを置かない

隣接する果樹園等の果実残さも取り除く

（2）苗木・幼木の保護

・地際～地上 1m まで 金網で覆う（消雪後に外す）

・冬期間は、金網が見える程度まで幹回りの雪を掘り上げて踏み込む



【金網設置の様子】

（3）野ネズミの密度を下げよう（根雪前までに実施）

・殺そ剤は遅効性の剤を数回に分けて使用（即効性は警戒される）

※薬剤の使用にあたっては使用量、使用方法を遵守すること

・作業時は人工的な臭いが付かないよう、手袋を着用

【対策1】巣穴に殺そ剤・毒エサを投入する方法

◇ 野ネズミが出入りしている「生き穴」に投入

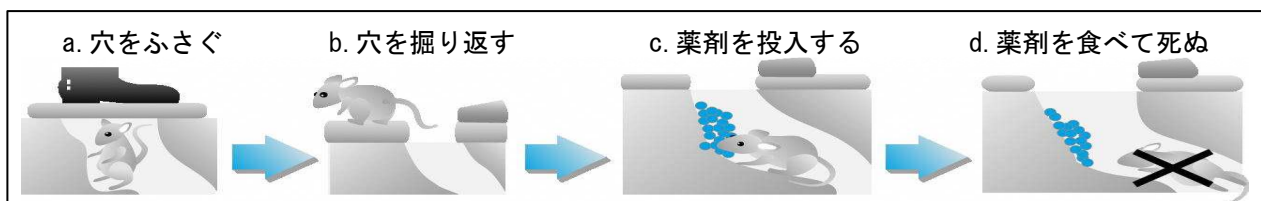
※「生き穴」の確認方法：

前日に穴を埋めて、翌日開いているのが「生き穴」



【生き穴の特徴】

- ・穴がきれい
- ・入口周りに草がない



大塚薬品工業株式会社ホームページより引用

【対策2】餌場を作って殺そ剤を設置する方法

◇ 餌場の設置：5 個/10 a 程度（樹からある程度離し、雨の当たらない暗所に設置）

縦に割った塩ビ管、古タイヤ、枯れ草・稲わらなどで覆う

（野鳥等が食べないように注意）

4 品種構成と受粉樹割合の見直し

【令和7年に「佐藤錦」の結実が良好であった園地の特徴】

・受粉樹の割合が4～5割程度で、

品種数が多い（5品種程度）

・受粉樹は「紅さやか」を中心に、複数品種を園地にまんべんなく導入

・高温対策として「佐藤錦」から「やまがた紅王」「紅秀峰」等の果肉が硬い品種に切り替え

■令和7年生産者アンケート調査結果

「佐藤錦」の 結実程度	【品種の導入割合】		品種数
	佐藤錦	その他 品種	
2 果以上	56.8%	43.2%	5.0
1.5～2 果未満	61.3%	38.7%	4.6
1～1.5 果未満	63.8%	36.2%	4.1
1 果未満	68.9%	31.1%	4.2

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8291

TEL:0237-86-8301

TEL:0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）